

折に触れ 四字熟語

NO. 300 『虚虚実実』 きよきよ じつじつ

< 意味 > 互いに策略や手段を尽くして戦うこと。また、うそとまことを取り混ぜて、相手の腹を読み合うことにもいう。

表 言 : 虚々実々のかけひき

用 例 : そしてこれも、東海の雄にのしあがってきていた家康と、虚々実々の攻防をくりひろげる。
< 杉本苑子・決断のとき >

語 釈 : 「虚」は守りの弱いところ。「実」は守りの堅いところ。実を避け虚をついて戦う意。「虚」「実」のそれぞれを重ねて、意味を強調した語。

一 言 : パリオリンピックは今真っ盛りでテレビの前を離れられない日々が続いています。スポーツは基本的に肉体と肉体との競い合いですが、相手を前にした競技ではフェイントをかけるとか裏をかくという作戦もあるようで、虚々実々の攻防も見どころの一つではないでしょうか。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」